

かがわ産業情報

KAGAWA INDUSTRY INFORMATION 21

成功への道筋が見えて来る！
かがわの産業界の今をお届けする

2025
4
vol.96

TOP NEWS

第32回 芦原科学賞の受賞者決定

(株)中川政七商店による
経営とブランディング講座を開催！

特集

令和7年度
かがわ産業支援財団の重点事業

令和7年度
香川県の主な中小企業支援事業

新かがわ中小企業応援ファンド等事業
令和7年度の助成対象事業の決定

かがわ発！元気創出企業

「有限会社 かがわ木材加工センター」

香川県産ヒノキの魅力を発信したい！
間伐材利用の新たなサイクルを確立



公益財団法人
かがわ産業支援財団
KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION

<https://www.kagawa-isf.jp>



第32回 芦原科学賞贈呈式



公益財団法人 かがわ産業支援財団
KAGAWA INDUSTRY SUPPORT FOUNDATION



TOP NEWS

01

第32回

芦原科学賞の受賞者決定

第32回芦原科学賞は、令和6年8月13日から10月15日にかけて募集を行い、技術開発等審査委員会(委員長:田村禎通徳島文理大学学長)及び芦原科学賞選考委員会(委員長:上田夏生香川大学学長)に諮り、受賞案件を決定しました。

そして、令和7年2月10日(月)に高松市内のホテルにおいて、池田豊人知事の御出席をいただき贈呈式が開催されました。贈呈式では、まず芦原科学賞の顕彰があり、近藤理事長から芦原科学大賞に決定した株式会社レクザムの高嶋俊治氏、島大輔氏、鎌野正義氏、小川知宏氏に賞状・楯と賞金(200万円)が、芦原科学功労賞に決定した三菱電機株式会社受配電システム製作所の仲田知裕氏、佐々木央氏、上松航星氏、前田大輝氏、松村康平氏及び三菱電機エンジニアリング株式会社の鳥羽慎司氏、田中翔氏に賞状・楯と賞金(100万円)が、芦原科学奨励賞に決定したプロテノバ株式会社タンパク質高機能化グループの真島英司氏、島厚志氏、原優子氏、松濤良美氏に賞状・楯と賞金(50万円)が授与されました。

(公財)かがわ産業支援財団では、高松市出身の故芦原義重関西電力(株)名誉会長からの寄附金を基金として、自然科学系分野において、県内の産業技術の高度化及び産業の振興に寄与することを目的に、平成5年度から、研究者の顕彰のための「芦原科学賞」事業を行っています。

CONTENTS

かがわ産業情報21
2025
4
vol.96
2025年4月 vol.96 発行(年4回発行)

01 TOP NEWS 01

第32回 芦原科学賞の受賞者決定

02 芦原科学賞の受賞者と業績

03 TOP NEWS 02

(株)中川政七商店による

経営とブランディング講座を開催!

05 特集01 令和7年度 かがわ産業支援財団の重点事業

07 特集02 令和7年度 香川県の主な中小企業支援事業

09 特集03 新かがわ中小企業応援ファンド等事業 令和7年度の助成対象事業決定

10 支援事例紹介 「微細構造デバイス研究開発フォーラム 令和6年度セミナー・見学会」を開催

11 財団の活動報告

令和6年度 かがわ産業振興クラブセミナーを開催
INPIT香川県知財総合支援窓口
『ビジネスに役立つ知財塾』を開催

12 財団からのお知らせ

令和7年度
起業等スタートアップ支援補助金(地域課題解決型)の受付開始
「地域資源活用商品開発支援事業」の募集
令和7年度 若手社員ステップアップ研修 受講生募集

13 かがわ発!元気創出企業

香川県産ヒノキの魅力を発信したい!
間伐材利用の新たなサイクルを確立
「有限会社 かがわ木材加工センター」

芦原科学賞の受賞者と業績

芦原科学大賞

テーマ 高精度で多機能なオートレンズメータ「DLシリーズ」の開発

受賞者：株式会社レクザム 高嶋 俊治／島 大輔／鎌野 正義／小川 知宏

推薦者：株式会社レクザム 取締役副社長 住田 博幸

業績

受賞者は、眼鏡レンズの度数を高速かつ高精度に測定できるとともに、複雑な度数分布の遠近両用レンズの測定も容易にでき、さらに眼に有害とされる紫外線やブルーライト透過率の測定も可能な簡単操作かつ多機能なオートレンズメータを開発した。本装置は世界各国の眼科医院や眼鏡店で使用されて高く評価されており、アイケア製品の技術の高度化やヘルスケア産業の発展に大きく貢献するものである。

受賞者のコメント

この度は栄誉ある芦原科学大賞を賜り、誠にありがとうございます。製品の開発から生産・販売に関わる関係者一同、本受賞を励みにし、ものづくりを通じて、お客様により満足していただけるよう、また香川県の産業振興に貢献できるよう励んでまいります。

オートレンズメータ「DLシリーズ」



レンズ押え機構と印点機構を一体化（印点精度向上、簡単操作、小型化を実現）

芦原科学功労賞

テーマ 世界最速を実現した気中直流高速遮断器の開発

受賞者：三菱電機株式会社 受配電システム製作所 仲田 知裕／佐々木 央／上松 航星／前田 大輝／松村 康平

三菱電機エンジニアリング株式会社 鳥羽 慎司／田中 翔

推薦者：三菱電機株式会社 受配電システム製作所 所長 吉田 大輔

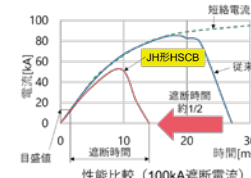
業績

受賞者は、世界最速の遮断時間13msかつ国内規格の最高スペックである定格短絡遮断容量に唯一対応可能な気中直流高速遮断器を開発した。高速遮断により事故電流がピーク値に到達する前に低減されるため、接続される機器や電力系統への負荷が低減され、機器の小型化及び設備費用の低減が可能となった。また、重要な社会インフラである電車運行の安全性及び信頼性の向上にも大きく貢献するものである。

受賞者のコメント

栄えある芦原科学功労賞を賜り、誠にありがとうございます。社会インフラの基盤である電鉄電力網の構築と信頼性向上のために、直流高速遮断器の開発を邁進してまいりましたが、そのことを評価いただき、大変うれしく感じております。今後もより一層の技術研鑽と製品開発に努め、社会貢献と香川県の産業振興に貢献していく所存です。

三菱JH型
直流高速遮断器



電流遮断波形図

芦原科学奨励賞

テーマ 次世代型抗体医薬製造用の 高機能性抗体結合タンパク質の開発

受賞者：プロテノバ株式会社 タンパク質高機能化グループ

真島 英司／島 厚志／原 優子／松溝 良美

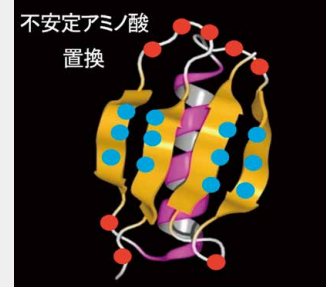
応募者：プロテノバ株式会社 代表取締役 真島 英司

研究評価

受賞者は、次世代型抗体医薬の分離精製に使用できる高機能性抗体結合タンパク質の開発に成功した。これは世界で初めての実用化であり、急成長する抗体医薬のなかで低分子化抗体や二重特異性抗体といった新たな次世代型抗体医薬の開発や製造の効率化に大きく寄与する成果である。また、製造工程の効率化により、高価な抗体医薬の製造コスト低減にも貢献するものである。

受賞者のコメント

この度は、栄誉ある芦原科学奨励賞を賜り、誠にありがとうございます。関係者皆様の御協力と御支援のおかげと感謝しています。今後も地域経済に貢献すべく、常にチャレンジ精神をもってバイオ分野の基盤を支える製品開発に取り組んでまいります。



プロテインLの3次元構造とアミノ酸置換



製品写真 (Protein L-T36)

(株)中川政七商店による経営と

地域性がある商品を扱う県内事業者の販路開拓を支援するため、ブランディング経営に関する講演や教育を全国で実施している株式会社中川政七商店を講師に招き、経営戦略、ブランディングの重要性、販路設計等について学ぶことができる講座を全3回にわたり開催しました。また、講座受講者から選考された4社は2025年2月開催の中川政七商店主催の見本市である「大日本市」に出展しました。

経営とブランディング講座



第1回 経営戦略をたてる

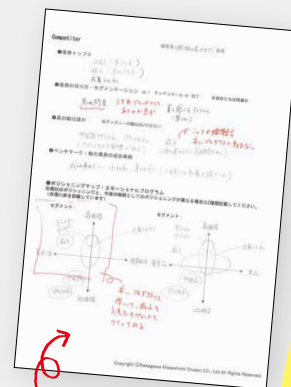
令和6年8月22日(木)



基礎的な決算書の読み方、経営分析の手法、ポジショニングマップの作り方等について学ぶ

参加者の声

決算書の活かし方や考え方、よく耳にするブランディングとはどういうものかがわかった



課題へのフィードバック赤字

課題
中期経営計画の策定

第2回 ブランドをつくる

令和6年9月19日(木)

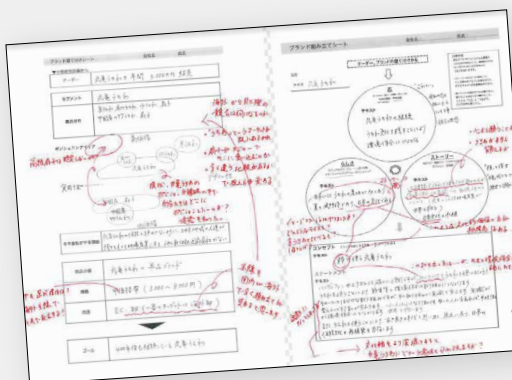


ブランドの作り方を3つのフェーズごとに学ぶ

- ①ブランドの建付け
- ②ブランドの組立て
- ③ブランドの仕上げ

参加者からの質問

- ◎流通を決める際に直営店がいいのか？卸がいいのか？ECなのか？
- ◎価格の決め方は？



課題
自社ブランドの
建付け組立て
のシート
の策定

課題への
フィードバック赤字

第3回 商品をつくる

令和6年10月17日(木)



他社の事例を参考に「商品政策」と「商品企画」について学ぶ

3回の講座を終えて

- ◎ブランドの建付けから組立てはもちろん、商品の展開方法やアイデアの扱い方など非常に参考になりました
- ◎各商品の年間売上数の把握、廃番等の改善の重要性を改めて教えていただきました

ブランディング講座を開催!

大日本市への出展!

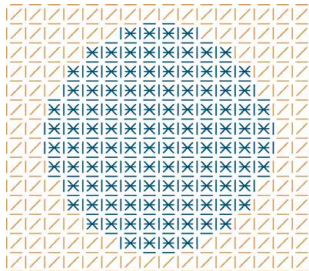
(中川政七商店主催)

会場:EBiS303
(東京都渋谷区恵比寿)

事前準備



令和7年2月11日(火)(大日本市会場にて)



DAINIPPON
ICHI

2025.2.12 WED - 14 FRI
10:00 - 18:00 (最終日のみ15:00閉場)

日本のものづくりと
繋がる場所



アドバイスを参考に...



新製品がどれかわかるようにポップを追加

出展の準備の後、
過去に出展経験のある
事業者とロールプレ
イグを実施しました。

参加者の声

初めての見本市への出展でしたが、
アピールの仕方がよくわかりました!



フルーツの写真が入ったポップを追加



一言ポップを追加



会 社 名:(株)川口屋漆器店
ブランド名:87.5(ハチジュウナナデング)
出展商品:香川漆器



会 社 名:くろか合同会社
ブランド名:三豊ふわりと
出展商品:綿あめ

当日の様子

令和7年2月12日(水)~14日(金)



会 社 名:(株)紙工芸やまだ
ブランド名:UchiwayaRyo
出展商品:丸亀うちわ



会 社 名:合同会社higoto
ブランド名:PLUS CRAFT
出展商品:革小物



かがわ産業支援財団の重点事業

創業・新事業創出等支援

新規創業・創業後支援事業（企業支援課）

創業を目指す方を対象として、必要な知識等に関する講義、創業計画作成演習等を内容とする創業支援塾を開講する。

よろず支援拠点事業（企業支援課）

中小企業や小規模事業者への支援体制を強化するため、国からの委託により設置した「よろず支援拠点」に、チーフコーディネーター1名と複数のコーディネーターを配置し、他の支援機関とも連携しつつ、総合的・先進的経営アドバイスの提供や個別事案に最適な支援チームの編成等によるワンストップ総合支援を行う。

農業の6次産業化等促進事業（ファンド事業推進課）

農林漁業者の6次産業化等の取組みを支援するため、「かがわ地域資源活用・地域連携サポートセンター（仮称）相談窓口」を設置し、専門家を派遣して経営等への助言を行うとともに、セミナーを開催する。

スタートアップ等経営相談窓口事業（企業支援課）

新事業展開等に取り組む県内中小企業等やスタートアップのために、総合相談窓口を設置し、様々な分野の専門家による経営・技術指導等を行う。また、地域の支援機関と連携を図るため、産業支援機関連絡会議を開催する。

- 窓口相談：月～金
- 産業支援機関連絡会議：5月頃開催

プロフェッショナル人材戦略拠点事業（企業支援課）

地域の中小企業の「攻めの経営」や経営改善への意欲を喚起するとともに、民間人材ビジネス事業者等と連携し、企業とプロフェッショナル人材とのマッチングを支援することで、プロフェッショナル人材の活用を促進し、企業の経営革新を促し、地域と企業の成長戦略の実現を支援する。また、副業・兼業等の多様な人材活用を促進するほか、県内企業の経営者向けのセミナー等を開催する。

助 成

新かがわ中小企業応援ファンド等事業（ファンド事業推進課ほか）

「新かがわ中小企業応援ファンド」の運用益等を財源に、中小企業者等が行う研究開発や販路開拓などの取組みを支援する。

起業等スタートアップ支援事業（企業支援課）

県内で起業等を行う者に対し、その初期投資に必要な経費の一部を補助することにより、起業等の促進を図る。
（対象事業）

- 地域課題解決型：社会的事業分野（事業承継者、第二創業者の場合は、Society5.0関連業種等の付加価値の高い産業分野に限る。）において、デジタル技術を活用し、地域の課題の解決に資する事業

商品化技術テーマ調査事業（産学官連携推進課）

県内企業等が、大学・高専・公設試等と連携して新たな商品化・事業化の可能性について調査研究する場合の経費を助成する。

デジタル化支援

中小企業デジタル化推進支援事業（企画情報課）

県内中小企業等のデジタル技術（生成AI・RPA・IoTなど）及びクラウドツールの利活用を促進するため、デジタル技術等の導入を希望する県内中小企業等に対し、導入計画の策定を支援するとともに、先進事例や取組事例の横展開を図る。

販路開拓支援

広域商談会開催事業（取引支援課）

下請中小企業の広域的な取引拡大を支援するため、商談会を11月頃に徳島県、2月頃に京都府で開催する。

大手企業との展示商談会開催事業（取引支援課）

県内企業の優れた技術・製品を大手企業に直接PRする展示商談会を開催し、新規取引の開拓及び広域的な受注機会の増大を図る。

有力な展示商談会出展事業（研究開発支援課）

県内企業の成長分野等（エネルギー・環境、ロボット、自動車関連など）への進出を支援するため、「機械要素技術展」などに「かがわ次世代ものづくり研究会ブース」を出展する。

食品商談会開催事業（企業支援課）

大都市圏等のバイヤーと県内食品産業各社（セラー）とのマッチングを行う商談会を開催する。

国内食品見本市出展事業（企業支援課）

香川県食品産業の魅力を発信するとともに、県内食品関連企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市である「スーパーマーケット・トレードショー」に、香川県ブースを出展する。

地域資源販路拡大支援事業（企業支援課）

地域の資源を活用した商品のさらなる販路拡大を目指し、首都圏で、オリーブや希少糖など主要な地域の資源に特化した販路拡大のための機会を提供する。

海外展開支援

地域企業海外販路開拓支援事業(海外展開支援室)

経済のグローバル化が進展し、地域産業においても、海外の市場に目を向け、販路開拓を推進することが求められている中で、新たな海外向けの販路開拓を中心とした各種支援を行う。

施設利用

頭脳化センター等施設提供事業(施設管理課)

頭脳化センタービル内の「インキュベートルーム」や「ITスクエア」のほか、多目的に利用できる会議室を提供する。また、県有施設「ネクスト香川」・「FROM香川」の管理運営を行う。

※「ITスクエア」又は「ネクスト香川のインキュベート工房」に新規入居する創業者等で要件を満たす場合は、利用料金を5年間減免できる。

顕彰

芦原科学賞(産学官連携推進課)

高松市出身の故芦原義重氏(関西電力名誉会長)からの寄附金を基金として、県内の産業技術の高度化及び産業の振興に寄与した研究者等を顕彰する。

産業技術の高度化・支援

新技術啓発事業(産学官連携推進課)

産学官連携で取り組んできた糖質バイオ分野、微細構造デバイス分野、健康関連産業分野の研究開発の成果やノウハウ等の県内企業での活用を目指し、産学官の関係者による情報交換や人的ネットワークの構築を支援する。また、香川県と連携し、希少糖関連プロジェクトの推進を図る。

食品産業支援事業(食品産業支援課)

「かがわ機能性食品等開発研究会」及び「かがわ冷凍食品研究フォーラム」を運営するとともに、「新機能性表示食品開発相談センター」において機能性表示食品届出に関する技術指導・相談や届出支援受託業務を行う。

人材育成

高度産業人材育成事業(企画情報課)

県内企業における製造技術の高度化やIT化の進展に対応できる人材の育成を図るため、香川高等専門学校等と連携し「次世代ものづくり技術」「IT技術」に関する講習会を開催する。

中小企業後継者育成事業(ファンド事業推進課)

県内中小企業の経営者や後継者の育成を目的に、中小企業大学校が実施する各種研修や香川大学大学院地域マネジメント研究科に派遣する際に必要な経費の一部を助成する。

地域技術事業化推進事業(産学官連携推進課)

香川大学大学院地域マネジメント研究科との連携協定に基づき、同科の後期日程で県内中小企業経営者等を講師とする講座(全15回)を提供する。

知的財産の活用支援

知財総合支援窓口運営事業(知的財産支援課)

「知財総合支援窓口」を設置・運営し、中小企業等が抱える様々な経営課題について、弁護士や弁理士などの専門家や関係機関と連携して、自社のアイデア、技術、ブランド、デザインなどの「知的財産」の側面から解決を支援するほか、知的財産セミナー等の開催や企業訪問などにより知的財産活用の重要性等の普及啓発を行う。

海外出願支援事業(知的財産支援課)

戦略的な海外への特許出願等を促進するため、県内中小企業等の海外への特許出願等に要する費用の一部を助成する。

香川県発明協会事務運営事業(知的財産支援課)

一般社団法人香川県発明協会が行う、四国地方発明表彰等の発明奨励事業や、香川の発明くふう展・小学生向け発明工作教室等の青少年の創造性開発育成事業等の業務を運営するほか、知的財産権制度の普及啓発を行う。

知的財産活性化事業(知的財産普及課)

「香川県知的所有権センター」を設置・運営し、知的財産の活用を普及する特許流通コーディネーター等が、知的財産の活用に関する情報を収集・提供するとともに、県内企業への訪問等を通じて、知的財産の活用に向けた相談・支援や普及を行う。

知的財産活用促進事業(知的財産普及課)

知的財産を活用した経営に取り組む県内企業等を対象に、かがわ知財経営塾等を開催する。大企業等の開放特許等を県内企業等に紹介するなど、知財マッチングの機会を提供するとともに、専門家を活用してオープンイノベーションによる新商品開発や新たな事業展開を支援する。

香川県の主な中小企業支援事業

事業名	事業内容	7年度事業内容
スタートアップ支援強化事業 予算額(千円) 63,821 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3353	県経済を牽引するスタートアップが継続的に生まれ、育つ「香川らしいスタートアップエコシステム」の形成を目指した環境づくりに取り組む。	○スタートアップ創出促進事業 ①スタートアップへの理解を深め、応援する気運を醸成し、関係者の交流、ネットワークづくりを図る「かがわスタートアップフェスタ2025」を開催 ②スタートアップ支援策の情報一元化事業 県内の起業支援情報を一元化したWEBサイトを運用 ○スタートアップスクエア事業 ・活動拠点となる起業家向けのオフィスの使用料を5年間減額 ○スタートアップ伴走支援事業 ①スタートアップ等経営相談窓口事業 起業家の成長段階に応じた専門家によるきめ細かな相談対応を実施 ②「かがわ創業塾」開催事業 県内での起業を目指す者を対象にかがわ創業塾を開催 ○スタートアップ成長加速化事業 ①スタートアップ成長加速化支援補助金 「ビジネスチャレンジコンペ」を開催し、優秀なビジネスプランに対し事業化に要する経費を支援するとともに、専門家によるアドバイスなどの支援を実施 ・補助率10/10 補助上限額 5,000千円 ②香川発スタートアップ販路拡大支援事業 ・独自の製品やサービスを有し成長を期待されるスタートアップが、県内事業者等と連携して課題解決を図る取組みに要する経費の一部を補助 ・補助率 3/4 補助上限額 3,000千円 ・都市圏の大企業等とのマッチング機会創出のためのイベントを実施 ③起業等スタートアップ支援補助金(地域課題解決型) デジタル技術を活用し、地域の課題に対して、社会性、事業性、必要性の観点をもって取り組む社会的事業者の起業等の初期段階に要する経費の一部を補助 ・補助率 1/2 補助上限額 2,000千円
新かがわ中小企業応援ファンド等事業 予算額(千円) 36,500 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	県内中小企業者に対して、人材育成、見本市への出展や食品商談会の開催等による国内外の販路開拓等を支援する。	○新規発掘・事業化コーディネート事業 ○国際取引支援事業 ○発注開拓支援事業 ○高度産業人材育成事業 ○食品商談会開催事業 ○国内食品見本市出展事業
次世代ものづくり産業育成事業 予算額(千円) 78,216 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3348	本県の強みである、ものづくり基盤技術産業や食品産業などの振興を図るため、脱炭素化に向けた取組を進めるほか、将来の成長が有望な分野における研究開発や新商品開発の支援、展示商談会などを活用した販路開拓・受注拡大の支援、地域産業に必要な人材の育成支援などを行う。	○脱炭素化推進高機能材料開発等支援事業 ○地域伝統食品産業基盤強化支援事業 ○ものづくりデジタル化推進事業 ○マーケティング力強化支援事業 ○希少糖研究開発加速化支援事業 ○戦略的マッチング推進事業 ○さぬきのうまい県食品競争力強化事業 ○新技術啓発事業
超スマート社会実現事業 予算額(千円) 39,616 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3348	県内企業の競争力強化に向け、AIやロボットなどの先端技術の活用を促進する。	○スマートシステム導入促進事業 ○AI技術活用研究開発加速化支援事業 ○中小企業デジタル化推進支援事業 ○ものづくりデジタル化推進事業(再掲)
貿易・国際投資支援事業 予算額(千円) 21,828 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	ジェトロ香川の機能を活用して、県内企業等の海外展開の支援を行う。	○ジェトロ香川に設置した「香川県海外ビジネス展開促進センター」において、海外展開に関心のある県内企業等に対する企業訪問や、ニーズに合わせた情報提供、アドバイス、支援事業等の紹介の実施 ○「海外ビジネス人材育成講座」の開催 など
アジアビジネスサポート事業 予算額(千円) 16,384 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	今後成長が期待されるアジア地域等への展開を目指す企業に対し、現地企業とのマッチング機会を提供し、県内企業の海外販路開拓支援を行う。	○アジアビジネス展開支援事業 ・ベトナムなどの企業とのオンライン商談会の開催 ○台湾販路開拓支援事業 ・台湾政府機関及び経済団体との共催による香川県台湾商談会の開催 ・台湾等の商習慣の知見を有するアドバイザーによる相談支援
知的財産推進事業 予算額(千円) 17,787 担当課 産業政策課 電話番号 087-832-3352	県内企業に対する知的財産の普及啓発を図るとともに、県内企業による知的財産の創造・保護・活用を促進する。	○知的財産活性化事業 ・香川県知的所有権センターの設置 ・「かがわ知財経営塾」「知財マッチングinかがわ」の開催 ○知的財産推進事業 ・外国における商標等の知的財産に関する諸問題に対応
企業誘致助成制度 予算額(千円) 2,541,993 担当課 企業立地推進課 電話番号 087-832-3354	県内に工場、試験研究施設、情報処理関連施設、物流拠点施設、地方拠点強化施設等を設置する企業又は産業用地の整備を行う企業に対して助成金を交付することにより、企業立地を促進する。	○助成対象:工場や試験研究施設等の区分に応じて定める投下固定資産額、新規雇用等の要件を満たすもの ○助成額:投下固定資産額等を基礎に算出した額(対象施設の区分により助成率が異なる) ※工場の場合 ・助成率 投下固定資産額の10% 投下固定資産額が10億円を超える部分については助成率を5ポイント引き下げ ・10人を超える新規常用雇用に対する助成あり ・助成限度額 5億円

事業名	事業内容	7年度事業内容
地域未来投資促進法 支援制度 予算額(千円) ー 担当課 企業立地推進課 電話番号 087-832-3354	地域の特性を生かして高い付加価値を創出し、地域の事業者に対する経済的波及効果を及ぼすことにより地域経済を牽引する事業(地域経済牽引事業)を支援する。	○要件 ①着手前に県に地域経済牽引事業計画を申請し、承認を受けること。 ②資産取得前に国に先進性の確認申請を行い、先進性の確認を受けること。 ○優遇措置 不動産取得税の免除(土地は対象施設の水平投影面積に限る) ※その他、国税の優遇措置あり
事業承継支援事業 予算額(千円) 8,350 担当課 経営支援課 電話番号 087-832-3345	県内中小企業の事業承継・M&Aを促進するため、専門事業者を活用した事業承継計画の策定支援、民間事業者のノウハウを活用した県と商工会・商工会議所の協働による支援先の掘り起し、事業承継税制の認定を通じた支援を行う。	○事業承継支援事業費補助金 ・支援機関の支援を受けたうえで、専門事業者に対して委託する経費の一部を補助 ・補助対象者：県内で事業を営む中小企業者等のうち県内に本社を置く法人又は県内に住所を有する個人事業主 ①事業承継計画の策定等 補助率 1/2(上限30万円) ②M&Aの仲介委託、デューデリジェンスにかかる経費等 補助率 1/3(上限30万円) ○事業承継支援強化事業 ・事業承継を進める重要度や緊急性の高い中小企業に働きかけ、事業承継の早期・計画的な取組みを促す。 ○事業承継税制の認定 ・事業承継の際の相続税・贈与税の納税猶予を受けるための認定
中小企業BCP策定 運用促進事業 予算額(千円) 6,305 担当課 経営支援課 電話番号 087-832-3345	県内中小企業等が災害等による事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続や早期復旧ができるようBCP(事業継続計画)策定を促進する。	○中小企業BCP策定セミナー ・中小企業等を対象にした、BCP策定セミナーの開催 ○中小企業BCP策定専門家支援 ・BCP策定等を検討している中小企業等に専門家による支援を提供 ○中小企業BCP策定支援補助金 ・専門家の指導等によりBCPの策定・見直しを行った際の経費の一部を補助 中小企業：補助率1/2(SDGs登録事業者は2/3)、補助上限50万円 中堅企業等：補助率1/3、補助上限30万円 ○香川県中小企業BCP優良取組事業所認定 ・BCPを策定し、事業継続に取り組む中小企業のうち、優れた取組を行っている企業を認定
県内中小企業設備投資 資金利子補給補助事業 予算額(千円) 91,100 担当課 経営支援課 電話番号 087-832-3345	製造業を営む中小企業者の経営基盤の強化や新分野進出などの積極的な事業展開を促進するため、県内中小企業者が行う設備投資のための事業資金の借入金に対する利子補給補助を行う。	○補助対象者 ・県内に本社又は事業所を有する中小企業者(製造業)で、設備投資のために1,000万円以上の資金借入を行ったもの(BCP(事業継続計画)の策定が必要) ○補助対象となる設備投資 ・県内における製造業のための工場又は試験研究施設の新築若しくは増改築又は取得並びに機械及び装置の取得 ○補助率 ・資金借入に伴う利子のうち年利1%以下で算定期間内に支払われた額の3/4 ○補助期間 ・最初の利子が支払われた日の属する月から84ヶ月以内 ○補助金額の上限 ・100万円/年(香川県中小企業BCP優良取組認定事業所・SDGs登録事業者は200万円/年)
中小企業振興融資 予算額(千円) 38,583,000 担当課 経営支援課 電話番号 087-832-3347	県信用保証協会の保証制度を活用し、取扱金融機関と協調して融資を行い、県内中小企業等の事業資金調達の円滑化を図る。	○新規創業支援 ○経営安定支援 ○商店街支援 ○事業承継支援 ○経営革新支援 ○企業立地支援 ○BCP策定企業支援 ○子育て支援 詳しくは「香川県商工労働部経営支援課ホームページ」参照 https://www.pref.kagawa.lg.jp/keiei/kinyu/kuushi/kuushi.html
かがわで就活！ 応援事業補助金 予算額(千円) 1,472 担当課 就職・移住支援センター(ワークサポートかがわ) 電話番号 087-802-4700	ワークサポートかがわでは、県内企業の人材確保拠点として求人・求職のマッチング支援と県内企業の情報発信に取り組んでいる。県外からの就職を支援するため、県外在住の学生が、香川県内で合同就職面接会、合同企業説明会、企業見学会、インターンシップ・就業体験に参加するときの交通費を助成する。	○補助対象者(必須) ①「ワクサポかがわ」に本登録 ②県外に居住地があり、県外の大学等に在籍する学生(いずれかの参加) (1)香川県が主催または共催、若しくは県内市町が主催する合同就職面接会、合同企業説明会、企業見学会に参加 (2)「ワクサポかがわ」で募集する県内企業のインターンシップ・就業体験エントリー後参加 ○補助対象経費 県外居住地から県内目的地までの間を経済的かつ合理的な経路で往復移動するときに要する交通費 ○補助限度額 詳しくは「ワクサポかがわ」のホームページ 1回あたり上限20,000円(1人3回まで) 「おしらせ」を参照 https://www.wskagawa.jp/
誰もが働きやすい 職場環境づくり助成金 予算額(千円) 8,980 担当課 労働政策課 電話番号 087-832-3370	「かがわ働き方改革推進宣言」を行い、働き方改革に取り組む県内に事業所を有する中小企業等に対し、職場環境の整備等に要する経費の一部を助成する。	○補助対象者 県内に本店、支店、営業所等を有する中小企業等 ○補助対象経費 ①短時間正社員雇用推進コース 短時間正社員を正式雇用し、一定期間経過した際に定額を支給 ②多様な働き方推進コース 就労環境改善のための設備・システム導入、就業規則の整備等に要する経費 ○補助率等 補助率1/2(SDGs登録事業者は補助率2/3) ①補助額500千円 ②補助上限額240千円
外国人材雇用促進事業 予算額(千円) 63,182 担当課 労働政策課 電話番号 087-832-3400	県内事業所や外国人材からの、雇用等に関する相談を総合的に受け付ける窓口の運営や、外国人材の受入れ・定着・活躍を促進するための補助等を行う。	○外国人労働人材関係相談窓口の運営 ○留学生等と企業との交流会・合同企業説明会の開催 ○ワークサポートかがわにおける専任コーディネーターの配置 ○海外大学等との連携などによる県内企業の人材確保支援 ○外国人材の適正な受入れなどを内容とするセミナーの開催 ○外国人材日本語能力向上支援 ・県内企業等が外国人材の日本語能力向上のために行う事業の経費を補助率1/2、補助上限額20万円で補助

新かがわ中小企業応援ファンド等事業

令和7年度の助成対象事業の決定

財団では、「新かがわ中小企業応援ファンド」等を活用して、県内の中小企業者が行う研究開発や販路開拓に対する支援を行っています。
令和7年度の助成事業について、令和6年12月5日から令和7年2月13日まで募集を行ったところ、59件の申請があり、審査の結果、助成対象事業を次のとおり43件決定しました。

① 新分野等チャレンジ支援事業

採択4件(申請10件) 採択額7,273千円(事業者名による五十音順)

事業名	事業者名(所在地)	採択額(千円)
1 いしとてプロジェクト	株式会社オオクボエンタープライズ(高松市)	1,273
2 極小セラミックスノズル射出成形金型製作技術の開発	株式会社長峰製作所(仲多度郡まんのう町)	2,000
3 にがりの効果を最大限に活かしたボディケア商品の開発	仁尾興産株式会社(三豊市)	2,000
4 米発酵エキスの新規用途開発	勇心酒造株式会社(綾歌郡綾川町)	2,000

② 競争力強化研究開発支援事業

① 一般枠

採択6件(申請7件) 採択額16,038千円(事業者名による五十音順)

事業名	事業者名(所在地)	採択額(千円)
1 ベルトコンベアの落鉱(粉) 清掃・回収装置の開発	株式会社三和テスコ(高松市)	3,000
2 経営者・労働者のための、画像解析による自動測定機能付筋力評価システムの開発	株式会社ジョーソンドキュメンツ(高松市)	3,000
3 船用装備関連設計補助アプリ開発	竹田工業有限会社(丸亀市)	1,038
4 放水ロボットの走行制御技術の開発	株式会社ファイトロニクス(高松市)	3,000
5 体内の免疫システムの異常を診断する測定試薬の開発	株式会社伏見製薬所(丸亀市)	3,000
6 分娩監視装置データのリアルタイム分析システムの開発	メロディ・インターナショナル株式会社(高松市)	3,000

② 農商工枠

採択3件(申請4件) 採択額5,895千円(事業者名による五十音順)

事業名	事業者名(所在地)	採択額(千円)
1 伊吹島産小羽カタクチイワシの新たな可能性を拓く「減塩アンチョビ」の開発(未利用資源の有効活用と地域活性化)	株式会社キョーワ(三豊市)	2,000
2 県産オリーブの未利用間伐枝葉を使用し、付加価値(長期品質保持、ポリフェノール強化)の高い「生の白いアラゲキクラゲ」の開発	高橋石油株式会社(高松市)	2,000
3 香川県産モリンガにGABAの機能性を付加した機能性表示食品モリンガスティック GABA Plusの開発	株式会社MITOYO-MORINGA(三豊市)	1,895

③ 成長促進研究開発支援事業

採択3件(申請4件) 採択額15,000千円(事業者名による五十音順)

事業名	事業者名(所在地)	採択額(千円)
1 浄水場の運転支援サービスの開発	株式会社石垣(坂出市)	5,000
2 生成AIを活用した高度な技術伝承モデル(AIエージェント)の開発および販路開拓	一光電機株式会社(高松市)	5,000
3 新型ボイラ開発	株式会社サムソン(観音寺市)	5,000

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

4 国内見本市出展・オンライン販路開拓支援事業

採択25件(申請32件) 採択額7,448千円
(事業者名による五十音順)

事業名	事業者名(所在地)	採択額(千円)
1 販路拡大のためのホームページリニューアル	株式会社あまる(三豊市)	270
2 2025NEW環境展	株式会社エコマスター(三豊市)	300
3 第38回グルメショー秋2025出展事業	株式会社エフディアイ(三豊市)	300
4 「柿茶」の認知向上とブランド力強化に向けた動画制作事業	柿茶本舗有限公司(坂出市)	300
5 高校生と共同開発した、さぬき讃しモンのジェラートのオンライン販売	株式会社かにわし(高松市)	300
6 FOOD STYLE JAPAN 2026 <沖縄>出展	鎌田醤油株式会社(坂出市)	300
7 たおれん棒 DXシリーズ国内見本市出展	株式会社空撮技研(観音寺市)	300
8 止水板の国内見本市への出展	四国プランニング株式会社(高松市)	300
9 マグネットを利用した新機構木製玄関「カーブ式引き戸」と「セミオート開きドア」の展示会出展による販路開拓事業	有限会社シティング(高松市)	300
10 オリーブECサイト構築による販路拡大と地域活性化事業	末澤緑地株式会社(高松市)	300
11 特殊作業用グローブ『DK.WORKS』の新商品拡販	株式会社ダイコープロダクト(さぬき市)	300
12 リードジェネレーションサービスを用いた実務者の視点から意見を取り入れた市場マーケティング戦略	高松帝酸株式会社(高松市)	300
13 『第13回FABEX関西2025』出展	宝食品株式会社(小豆郡小豆島町)	300
14 第38回グルメショー秋2025出展	有限会社筒井製菓(高松市)	300
15 H.C.R.2025 第52回国際福祉機器展出展	徳武産業株式会社(さぬき市)	300
16 FOOD EX JAPAN 2026への出展	株式会社中野製菓(さぬき市)	300
17 ネブコンジャパン2026	株式会社長峰製作所(仲多度郡まんのう町)	300
18 「マンナンミール」の有用性認知・販路拡大のための展示会出展	ハイスキー食品工業株式会社(木田郡三木町)	278
19 「JASIS 2025」出展による当社製品の認知度向上	株式会社ハガタ屋(東かがわ市)	300
20 災害避難所用段ボール製品の販売	株式会社FUJIDAN(東かがわ市)	300
21 新規の農業用樹脂テープ(シャインテープ レコード巻)の宣伝広告	松浦産業株式会社(善通寺市)	300
22 ダイシモチ新品種(144号)販路開拓について	株式会社まんでがん(善通寺市)	300
23 健康博覧会出展事業	三豊オリーブ株式会社(三豊市)	300
24 太陽光パネル清掃ロボット 新製品の国内販路開拓のための展示会出展	株式会社未来機械(高松市)	300
25 視覚障がい者用周囲環境認識ウェアラブルデバイス「SYNCREO(シンクレオ)」の広報活動および販路開拓のための「H.C.R.2025国際福祉機器展」への出展	株式会社Raise the Flag. (高松市)	300

5 海外見本市出展支援事業

採択2件(申請2件) 採択額1,600千円(事業者名による五十音順)

事業名	事業者名(所在地)	採択額(千円)
1 New York Summer Fancy Food Show 2025 出展	石丸製麺株式会社(高松市)	800
2 香港HKTDC Food Expo PRO出展	鎌田醤油株式会社(坂出市)	800

支援事例紹介

「微細構造デバイス研究開発フォーラム 令和6年度セミナー・見学会」を開催

微細構造デバイス研究開発フォーラム(平成17年設立 会長:香川大学創造工学部教授・香川大学微細構造デバイス統合研究センター長 高尾 英邦)では、1月29日(水)にセミナー・見学会を開催しました。

セミナーでは、香川産業頭脳化センタービル2階一般研修室にて「新しいセンシングデバイスが拓く未来社会」をテーマに、マイクロセンサ・デバイスの分野の最新動向やセンサ・デバイスを活用した機器の開発ストーリーについて、講師2名にご講演いただきました。(参加者:会場参加者36名、オンライン参加者20名)

その後、FROM香川メカトロ研究室に移動しての見学会では、参加者の皆様に微細構造デバイス研究開発設備への知見を深めていただきました。(参加者:16名)



開催概要

第1部

微細構造デバイス研究開発フォーラムセミナー

講演①

演 題

「マルチモーダルセンサの開発と社会実装」

講 師

豊橋技術科学大学 次世代半導体・センサ科学研究所 所長・教授 澤田 和明 氏

講演②

演 題

「美容家電の開発について
～新しいセンシングデバイスへの期待～」

講 師

パナソニック株式会社くらしアプライアンス社
ビューティ・パーソナルケア事業部
ビューティ商品部へアケア技術開発課
課長 松井 康朗 氏

第2部

微細構造デバイス研究開発設備(FROM香川メカトロ研究室)見学会

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 技術振興部 産学官連携推進課
高松市林町2217-16 FROM香川1F
TEL.087-840-0338 FAX.087-864-6303

令和6年度 かがわ産業振興クラブセミナーを開催

かがわ産業振興クラブでは、令和7年1月27日(月)に、リーガホテルゼスト高松 翡翠の間において、令和6年度かがわ産業振興クラブセミナーを開催しました。Zoomによる同時配信も行い、総勢105名の方に聴講いただきました。

第1部では、株式会社ビピンコ 代表取締役・一般社団法人IT経営コンサルティング九州の井上研一氏から、「生成AI×業務システムで業務効率化を実現～生成AI活用事例と導入ステップ～」と題して講演をいただきました。

①生成AIの概要として仕組みやマルチモーダル化が進んでいる現状、②生成AIを業務に浸透させるステップとしては、まず、チャット形式による社内知恵袋として慣れ、次に、会話能力を踏まえたバラエティに富んだ回答ができるお客様サポート用チャットボットとしての活用、そして、自社の業務システム等に生成AIを組み込み、広く業務の効率化・業務品質の平準化を図ることを目指すこと、③生成AIの導入を始める際に知っておくべきAI事業者ガイドラインの紹介、AI事業者としてのガバナンスシステム構築の必要性、生成の精度やハルシネーションの発生等活用にあたっての注意点などのお話いただきました。

第2部の会員企業事例報告では、株式会社北四国グラビア印刷 代表取締役の奥田拓己氏と開発部部長の森本未沙氏より、軟包装資材の企画・製造・販売を行う同社が、ポストコロナ時代の新たな成長を目指し、社長と社員が一体となって自社の強みを洗い出し、グルーピングを通じて特長を絞り込み、「環境パッケージを推進していく!」という戦略を策定したことをご紹介いただきました。業界に明確なルールがない中で、自らデファクトスタンダードとなることを目指し、積極的に情報発信を実施。その一環として、環境保全に取り組む団体や企業、個人を紹介する自社運営サイト「あわいひかり」も展開し、地域や業界と共に環境意識を高める活動を続けています。

続いて、株式会社富士クリーン 代表取締役の馬場太郎氏から、収集・運搬から中間処理・最終処分、再資源化まで廃棄物処理に関する一貫体制を確立している同社が、さらに循環型社会の構築を進めるため、人材の育成と確保・経費削減のための社内体制の改善、国・県との共同研究による再生可能エネルギーの効率的な製造に関する新技術開発、再生可能エネルギーを活用した希少農産物栽培等農業への応用研究、次世代の環境意識向上を目指した環境学習の実施など、多角的な取り組みについてお話いただきました。

【主催】(公財)かがわ産業支援財団 【共催】香川県よろず支援拠点

かがわ産業振興クラブでは、会員を募集しています。詳細は、当財団ホームページ<https://www.kagawa-isf.jp/club/>をご覧ください。
実施事業:財団機関誌、メールマガジン等の送付、セミナー・県外企業見学会・知事との意見交換会の開催、年会費:5,000円



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部取引支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

INPIT香川県知財総合支援窓口『ビジネスに役立つ知財塾』を開催

知的財産の専門家である弁理士等から、ビジネスと知的財産の関係、ビジネスにおける知的財産の活用について事例紹介を交えながら、分かりやすく説明する知財塾として、第1回目は事業と知的財産の関係、知的財産の種類(保護対象)等について、広く知っていただく内容で、創業予定者、創業間もない方、スタートアップの方に、第2回目は特許についても説明する内容で製造業の方向けに、第3回目はサービス業の方(インターネットショップを含めた小売店、飲食店、その他)向けに開催しました。終了後、御希望に応じて、INPIT香川県知財総合支援窓口の支援担当者が個別の質問や相談に対応する個別無料相談会も実施しました。



開催日	開催場所	テーマ	講師	受講者数
2月4日		こしの強い知財で差をつけよう! ～スタートアップの知財入門～	INPIT 知財戦略 エキスパート 安藤 治孝 氏	8名
2月17日	香川産業頭脳化センタービル2階一般研修室	知っておこう!事業を守り、成長を支える知的財産権の概要	洲崎国際特許事務所 弁理士 洲崎 竜弥 氏	12名
2月25日		これだけは押さえておきたい! サービス業と知的財産権のかかわり	弁理士法人エルア 商標意匠事務所 代表社員弁理士 松本 尚子 氏	10名

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団INPIT香川県知財総合支援窓口
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル1F
TEL087-802-3650

令和7年度 起業等スタートアップ支援補助金(地域課題解決型)の受付開始

県内で起業等を行う者に対し、その起業等に必要な経費の一部を補助します。

地域課題解決型					
補助対象事業	地域に蓄積された強みなどの地域資源を生かして、地域活性化関連、子育て支援、健康関連、買物弱者支援、まちづくりの推進などの社会的事業分野で、デジタル技術を活用し、地域の課題の解決に資する事業				
補助金額・補助率	200万円以内(1/2以内)	対象者	県内における起業者等	対象経費	人件費、事業費、委託費
募集期間	令和7年4月10日(木)～令和7年6月10日(火)17時(必着)				

詳細はこちらをご覧ください。▶ <https://www.kagawa-isf.jp/support/fund/startup/>

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

「地域資源活用商品開発支援事業」の募集

県内中小企業者が行う地域の資源を活用した商品の開発及びこれに伴う販路開拓の取組みを支援するため、助成金を交付します。

1. 助成対象事業

地域の資源を活用した自社商品の開発及びこれに伴う販路開拓

※地域の資源とは、地域産業資源(香川県の特産物として認識されている農林水産物若しくは鉱工業品又は当該鉱工業品の生産に係る技術)又は香川県伝統的工芸品として指定されているものをいいます。

4. 応募方法

応募に当たっては、所定の申請書と必要となる添付書類を作成のうえ、電子申請又は郵送若しくは持参により申請してください。申請書の様式等は財団のホームページからダウンロードが可能です。

5. 募集期間

令和7年4月15日(火)～令和7年5月27日(火)17時(必着)

※ 締切直前は、応募が集中することが予想されますので、早めの申請をお願いします。

2. 助成率・助成額

助成率: 2/3以内

助成額: 50万円以上100万円以下

3. 採択予定件数

5件程度

6. 助成の対象となる事業の決定

書類審査及びヒアリング等の後、専門家等で構成する審査委員会での審査を経て決定します。申請者は審査委員会でプレゼンテーションを行っていただきます。

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 ファンド事業推進課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9903 FAX.087-869-3710

令和7年度 若手社員ステップアップ研修 受講生募集

県内企業の人材育成を支援するため、若手社員向けの研修を実施します。若手社員のうちに身に付けておくべき、日常の業務で頻繁に活用するスキルを学ぶことを目的として開催しますので、多数の御参加をお待ちしております。

日 時	令和7年7月16日(水) 9:30～17:00 ※昼休憩1時間程度を含む
場 所	香川産業頭脳化センタービル2F 一般研修室(高松市林町2217-15)
対 象 者	概ね20歳代の若手社員
申込方法	申込フォームからお申し込みください。 https://kagawa-isf.form.kintoneapp.com/public/r7yoyakuwakatef
定 員	24名(申込先着順)
受講料	7,700円(税込)/名
講 師	株式会社ビックバン 代表取締役 山下 益明 氏
申込締切	令和7年7月2日(水)(定員になり次第締め切ります。) なお、キャンセルは令和7年7月9日(水)17:15まで承ります。 以降のキャンセルは原則として返金いたしません。



カリキュラム(予定)

I. ロジカルシンキング

- ◎ロジカルスキルとは
- ◎結論から話すPREP(プレップ)法
- ◎ピラミッドストラクチャーで論理構造を整理する

II. 課題解決力

- ◎問題意識をもつことで課題発見ができる
- ◎すっきりとわかりやすく課題形成を行う
- ◎課題解決のために必要なこと

III. コミュニケーション能力

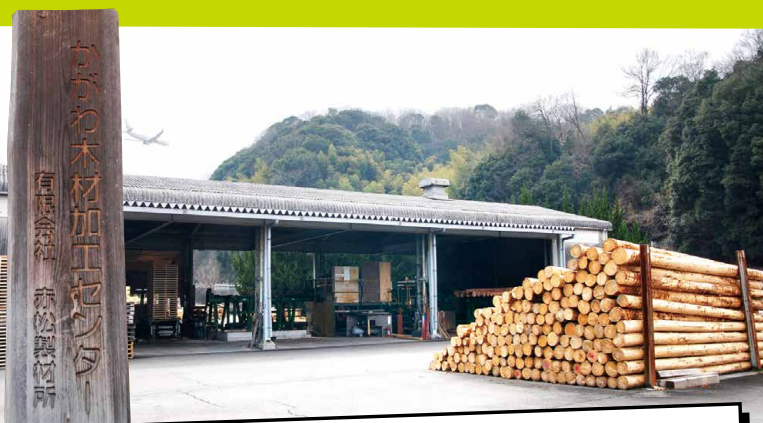
- ◎コミュニケーションとは
- ◎人間関係を良くするために必要なこと
- ◎メラビアンの法則

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 総務部 企画情報課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-868-9901 FAX.087-869-3710

かがわ発！ 元気創出企業

香川県内の元気な企業を訪問し、その企業が発展してきた過程と躍進を続ける今、そして未来への指針についてお聞きする「かがわ発！元気創出企業」。今回は、高松市にある「有限会社かがわ木材加工センター」を訪ねました。



有限会社 かがわ木材加工センター
<https://r.goope.jp/sr-37-373611s0006/>
 製材JAS:機械等級区分構造用製材認証工場

所在地 高松市香南町岡16-1
 電話番号 087-813-9001

1955年創業の「赤松製材所」をルーツに、香川県産木材の利用促進に取り組む香川木材加工センター。2024年にはJAS機械等級区分認証工場となり、ここで製材された木は県内各地で使われている。木を育てる山と木を使う消費市場を結びつけ、香川産木材のブランド向上を目指す同社の皆さんに、思いを伺った。



取締役
谷口 彰 氏
AKIRA TANIGUCHI

代表取締役
赤松 孝明 氏
TAKAAKI AKAMATSU

取締役
赤松 利達 氏
TOSHITATSU AKAMATSU



段階ごとに製材が進む工場内の様子

間伐材利用の 新たなサイ

間伐材を商品にして 山に還元する試み

山に植林されたスギやヒノキは、継続的な管理が欠かせない。生育環境を整えるために間引きすることがあり、そこで切られた木は「間伐材」と呼ばれ、十分な成長を待って伐採される「主伐材」より細い、直径20cmほどの小径木が中心。木は原木市場のセリを経て製材所で「材木」になり、工務店や木工所で建物・家具などに加工されるのが一般的な流通の流れだが、小径木はニーズが低く、香川県では間伐材は使い道がないとして長らく山に放棄されていた。

「でも、香川のヒノキは北向きの山林でゆっくり成長するからか、木目が均一で強度が高い。かがわ産業支援財団のサポートでJAS認証を取得するための試験をしてみたら、やはりバランスのいい良質な木でした。せっかく手入れしていい木に育っているのだから、捨てずに商品として利益を生み山に還元しようと思ったんです」と、赤松利達さん。昭和40～50年代のマツクイムシ被害の跡地に植えられたヒノキが成熟しつつある中で、県産ヒノキの流通を確立したいと考えた。

その思いは、間伐材利用を推進する国の動きや木の地産地消を目指す県の方針とも合致して、2011年に「かがわ木材加工センター」を設立。赤松さんはもともと山里の太い木を扱う製材所を営んでいたが、センターでは針葉樹の小径木を扱える設備を新たに導入し、香川県産間伐材の利活用を推進する拠点としての稼働が始まった。



香川県産ヒノキの 魅力を発信したい！ クルを確立

搬入された木は 木くずまで余さず活用

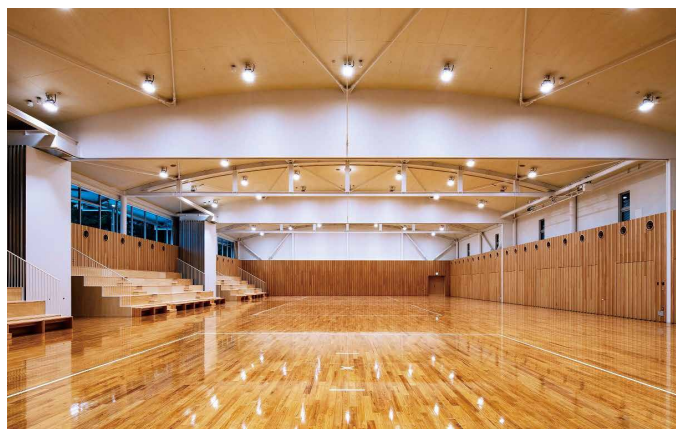
センターでは、県内6カ所の森林組合から搬入される木材を受け入れる。スギが少ない香川ではほとんどがヒノキで、近年は間伐材だけでなく主伐材も運ばれてくるようになったそう。香川には原木市場がないため、従来の県産材は県外市場を通じて流通していたが、赤松さんはセンターを立ち上げた際に「森林組合が運んでくるすべての木材を引き取る」と約束。さまざまなサイズの木を分別して製材し、建築資材に使えない部分や木くずもパレット、チップ、畜産資材などに余さず活用している。

建築資材はプレカット工場に6割、工務店に3割程度の割合で、ほとんどが地産地消の県内流通だ。6メートルの長さがあれば構造材に使うことができ、住宅などに使っても安全な強度があることを示すため、財団の支援を受けてJASの認定も取得。「構造材は建物が建ってしまったら見えなくなりますが、見えないところでも安心安全を守りたい」と谷口彰さん。1本の木から節のない材をとるのが難しいという制約はあるものの、フローリング材などに広く使われるほか、集成材の一種「合わせ梁」も自社で開発した。

センターで製材した材は、一般住宅はもちろん学校・寺社をはじめとする県内のさまざまな施設、あなぶきアリーナ香川や栗林庵といった有名ランドマークにも使われている。

01

県内各地から運ばれてきた材木が積まれたヤード



02

センターの木材が使われたあなぶきアリーナ内施設(提供:香川県)



03

環境関連の学習講座や工場見学も積極的に受け入れている

地産地消のサイクルを 守り続けることが大事

「県産材のブランドを守りたい」という思いから始まったセンター。県内の製材所との連携を深めるための「県産委員会」を定期的に開催しているほか、行政と連携しながら県産材の普及拡大に努め、当初270㎡程度だった出荷量は今や1万5000㎡まで増えた。

「小径木を扱う製材所は他県でも少なく、また決して材木生産県とはいえない香川で、どんどん規模を拡大していくのは難しいとも思っています」と赤松孝明さん。「大切なのは、地元へ根差して、今の流れを存続させること。我々I社では限度があっても、賛同する製材所が増えれば消費者も選択肢が広がるし、業界が活気づくのではないのでしょうか」と力を込める。

20年前は「四国産」とひとくくりにされていた材木は、10年ほど前から「香川産」とうたわれ始めた。孝明さんは「認知が進んでいる手応えはありますし、行政も住宅メーカーも積極的になってきたと思います。針葉樹を扱う製材所として、それ以外の広葉樹を使う木工所などとも連携しつつ、香川県の木に確かなニーズがあることを発信し続けて、香川ならではの『山から消費へのサイクル』を確立したい」と、展望を語った。

「第59回スーパーマーケット・トレードショー2025」に香川県ブース出展

香川県の主要産業の一つである食品産業の魅力を発信するとともに、関連する企業の販路開拓を支援するため、国内最大級の食品関連見本市「第59回スーパーマーケット・トレードショー2025」に、香川県ブースを出展しました。

第59回スーパーマーケット・トレードショー2025の概要

- 日時** 令和7年2月12日(水)～14日(金)10時～17時 ※最終日は16:00まで
会場 幕張メッセ 全館 **来場者数** 77,305名
主催 一般社団法人 全国スーパーマーケット協会
特色 ○スーパーマーケット、百貨店、飲食店、卸、食品メーカー等のバイヤーが多数来場。
○小売企業の決定権を持つ経営者やバイヤーを積極的に招待。
○県内企業が「香川県ブース」として共同出展することにより、地域産品を求めるバイヤーに効果的にPRできるとともに、出展費用を抑制。



香川県ブースについて(平成22年度から実施)

- 出展規模** 17小間(12.7m×12.0m) **出展場所** 9ホール 9-405 **出展企業** 30社

(株)エフディアイ、岡田食品工業(株)、鎌田醤油(株)、(有)キウイバードコーポレーション、共栄冷凍水産(株)、(合)キングスヤード、銀四郎麺業(株)、(有)さぬき鳥本舗、(株)さぬき有機、(株)讃岐物産、(株)サンコウフーズ、JA香川県、小豆島オリーブ(株)、(株)食心堂、千金丹ケアーズ(株)、タケサン(株)、タケサンフーズ(株)、中野産業(株)、(株)中野製菓、ハイスキー食品工業(株)、(有)パイプイン、(株)藤井製麺、(有)藤川果樹園、(株)ボスコフードサービス、丸金食品(株)、丸島醤油(株)、丸剛産業(株)、まるぼ食品(株)、(株)まんてかん、安田食品工業(株)

お問い合わせ先 公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部 企業支援課
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2F TEL.087-840-0391 FAX.087-869-3710

「令和6年度 関西・四国 合同広域商談会」を開催

令和7年2月13日と14日に、「令和6年度 関西・四国 合同広域商談会」を京都パルスプラザで開催。県内からは発注企業2社、受注企業9社が参加しました。

- 開催日時** 令和7年2月13・14日
開催場所 京都パルスプラザ
2階 大展示場(京都府京都市)
参加機関 関西6府県、四国4県、
鳥取県の支援機関及び
(公財)全国中小企業振興機関協会
対象業種 機械・金属加工、樹脂加工等
参加発注企業 154社(うち香川県2社)
参加受注企業 428社(うち香川県9社)
面談件数 香川県27件

お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部取引支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

「香川県 新技術・新工法展示商談会 in 川崎重工業」を開催

令和7年1月23日と24日に、川崎重工業株式会社の御協力をいただき、県内企業19社、香川高等専門学校詫間キャンパス及び香川県産業技術センターが、川崎重工業 明石工場の総合事務所(兵庫県明石市)において、自社の新技術・新工法を展示する商談会を開催しました。

この展示商談会は、川崎重工業および関連企業の調達、生産、開発設計等の担当者を主対象として、県内企業の優れた技術や製品を展示し、直接提案することにより新たな販路拡大を目指すものです。出展企業の分野は、素材・材料、システム・ソフトウェア、設備装置等と多岐にわたりました。

会期中は、川崎重工業及び関連企業を含めた350名が来場され、各ブースで出展企業との活発な商談が行われました。出展企業にとっては、川崎重工業をはじめとした多くの関係者に自社の技術等を直接提案するとともに、大手企業のニーズを把握できる絶好の機会となりました。

財団では、今回の出展企業等に対しフォローアップを行い、具体的な取引につながるようサポートするなど、県内企業の販路拡大を積極的に支援します。



お問い合わせ先

公益財団法人かがわ産業支援財団 企業振興部取引支援課
高松市林町2217-15 TEL.087-868-9904 FAX.087-869-3710

総務部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2F
総務課
TEL.(087) 840-0348 FAX.(087) 869-3710
企画情報課
TEL.(087) 868-9901 FAX.(087) 869-3710
ファンド事業推進課
TEL.(087) 868-9903 FAX.(087) 869-3710

施設管理部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル1F
施設管理課
TEL.(087) 869-3700 FAX.(087) 869-3703
〒761-0301 香川県高松市林町2217-43 RISTかがわ1F
施設運営課
TEL.(087) 869-3440 FAX.(087) 869-3441

企業振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル2F
企業支援課
TEL.(087) 840-0391 FAX.(087) 869-3710
取引支援課・海外展開支援室
TEL.(087) 868-9904 FAX.(087) 869-3710

技術振興部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-16 FROM香川1F
産学官連携推進課・研究開発支援課
TEL.(087) 840-0338 FAX.(087) 864-6303
〒761-0301 香川県高松市林町2217-43 RISTかがわ1F
食品産業支援課
TEL.(087) 869-3440 FAX.(087) 869-3441

知的財産支援部

〒761-0301 香川県高松市林町2217-15
香川産業頭脳化センタービル1F
知的財産支援課
TEL.(087) 867-9332 FAX.(087) 867-9365
知的財産普及課
TEL.(087) 869-9004 FAX.(087) 867-9365

